

答申報告会質疑応答

質問者：A

今回の答申をわかりやすく資料にし、説明していただいて伝わったが、市民という言葉は多く出てくるが、家庭という言葉が出てきていないのはなにか配慮があつてのことか。市民の皆さんや先生方の協力をいただくのは必要だが、親として学校や先生に協力していくことが重要と考える。
また、答申で一日でも早くとおっしゃっているので、スピーディに再編を進めてほしい。

回答：井出先生

今回は市民向けということで家庭という言葉を使用していないだけで意図して使用していないわけではない。Aさんの発言で家庭の役割に触れていただき心強く思う。

質問者：B

- ①小中一貫教育については、今までの市民の懇談会などで市民から直接望まれ、寄せられたものなのかお聞きしたい。
- ②言葉の使い方の問題だが、私は学校現場、教育の場では人材という言葉はなじまないと思っている。
- ③効率良くすすめるためには、という説明もあるが、効率はコロナの問題も含めて今の学校は効率を追い求めて良いのかと感じる。効率の意味をお聞きしたい。
- ④配慮事項は子どもたちにとって良いものか疑問がある。スクールバスなど運行する学校も増えているが、スクールバスの影響を調査したか、小中一貫、学校の統廃合ありきで検討しているように感じるが、地域との交流を考えると小規模でも地域に学校がある方が良いと思っている。

回答：井出会長

- ①市民や保護者が望んでいるかは把握していない。審議会の委員12人で必要性を議論し、判断した。
- ②人材育成はなじまないとのお話について、学校教育で最も大事なことは、子どもたちが自己実現をすること、その育ちを手助けすることが私達の役割。将来を考えると、その学びが社会に貢献につながり、自分と社会とのつながりになっていく。一人一人が大切な存在であり、必要な存在であることから人材という言葉を使っている。
- ③義務教育学校は効率的と書いてあるが、物理的な近さによる効率的という意味で使っている。
- ④スクールバスは導入するなら今回記載してある事項を配慮してもらいたいという内容で、導入した際に発生するであろう問題を書かせてもらった。

質問者：C

- ①事務局に質問、審議委員の名前、立場など構成が知りたい。公開しているかを知りたい。今回の答申では根幹にかかる部分となっているが、保護者や子ども自身の声、学校の教職員の声を代表する人が入っているのか知りたい。

- ②私の住んでいる市町村では4校統合となりスクールバスで児童が集まってくる。保育園も統合が進んでいる。先行事例地の状況を調査したか、小中一貫について、教員仲間から大変という話を聞くが、運用が大変だと聞いている。
- ③コロナで学校現場はかなり大変で、一刻も早く小中一貫をすすめるよう提言されているが現場としては無理と思う。コロナで少人数の良さや、400人や500人という規模は令和の時代にはそぐわないと思う。一人一台端末などで他の学校とオンラインでつながることもできる。審議会の最中にコロナ騒動が始まったので、コロナを踏まえた審議がなされたか聞きたい。

回答：① 学校教育課長黒岩、② 以降井出先生

- ① 12名の構成は、有識者、保護者代表、地区代表、学校長、公募で構成されている。委員の名前などホームページで公開しているかは確認して回答する。
- ② 審議会の前段の長期学校改築検討会で信濃町小中学校を視察し、校長先生等関係する先生方と懇談して義務教育学校について検討した。併設型については佐久穂町の教頭先生にお越しいただき、メリット・デメリットについてお聞きした上で審議をした。
- ③ コロナの状況も審議会で検討している。今日の説明では触れていないが答申には記載されており、特に 5G ではコロナ以降特に必要となっているなど触れている。今後の東小学校・野岸小学校の統合については、事前に交流する場合などに 5G 機器を活用するなど、見える化の資料でも触れている。